



オンラインで実践的な英語を学ぶ生徒

野辺地西高でオンラインレッスン 実践的な英会話学ぶ

野辺地

2回の特別授業として参加している。

生徒は通信ソフトウェアを活用し、オンラインでCNEIの教師と対面式の授業を実施。授業は全て英会話で行われるため、生徒は身ぶり手ぶりも交えて教師と意思疎通を図り、実用的な会話法を学習していた。

八戸学院野辺地西高(橋場保人校長)は、フイリピンの語学学校「CNEI」と、インターネットを通じて英会話を学ぶオンラインレッスンをスタートさせた。参加する1年生7人が会話を楽しみながら、実践的な英語を学んでいる。

学校法人光星学院は、CNEIと提携している。これに伴い、野辺地

西高はグローバル教育に力を入れるため、同レッスンを9月4日に開始した。進学希望の生徒が週

1年生の大川涼真さん(16)は「将来、英語を絶対使おうと思ったので参加した。イントネーションなどが覚えやすく、聞き取って話せるようになってきた」と手応えを語った。

本年度の授業は来年1月末まで。来年度以降も実施する方針だという。

(藤村大地)